

<2016 年度 第 1 回 関西接着ワークショップ>

日本接着学会関西支部主催

「接着の耐久性と信頼性評価」

趣旨：日本接着学会関西支部では、粘接着、表面・界面、複合化に関わる科学と技術を基礎から応用までしっかりと見据え、会員間で関連技術の情報交換を行い、さらには開発現場で皆様が抱えておられる課題解決に向けた議論の場を提供することを目的として、2013 年度から『関西接着ワークショップ』を開催しています。

本年度は、『耐久性・信頼性評価』、『高強度材料・自己修復』、『特殊機能材料・オンリーワン技術』、『分析技術・構造物性ダイナミクス』等に関する様々な分野に関連する話題や、基礎から応用まで質の高い情報を低コストで提供する予定です。第 1 回ワークショップでは、実用的な材料開発で最も重要な鍵となる「接着の耐久性と信頼性評価」に焦点をあてて講演会を企画しました。耐久性や信頼性に関連する基礎的事項から最近のトピックスや最新技術まで、様々な観点からご講演頂きます。皆様、奮ってご参加ください。

1. **日時：**2016 年 7 月 25 日（月）13 時 20 分より 17 時 00 分まで

2. **場所：**大阪市立大学梅田サテライト 文化交流センター 大セミナー室（大阪駅前第 2 ビル 6 階）

（〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6 階）

[アクセス] 地下鉄四つ橋線「西梅田」7 A 出口、谷町線「東梅田」8 番出口、御堂筋線「梅田」南出口、JR「大阪」中央口、東西線「北新地」東口より徒歩 (<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access#umeda>)

3. プログラム

● 13 時 20 分～14 時 50 分 [講演 1]

「接着継手の破壊じん性（実験方法とその評価方法）」

今中 誠 先生（大阪教育大学）

（講演概要）接着剤の評価に際して、最近、破壊じん性値が注目されているが、その実験方法については引張せん断試験ほど一般化されていない。ここでは、まず、基礎となる破壊力学パラメータの意味について概説し、次に接着継手の破壊じん性試験の具体的な実験方法や測定データの解釈方法について、筆者の経験を踏まえて説明する。また、最近の接着継手の破壊じん性に関する研究動向について述べる。次に、破壊じん性と関連の深い接着継手の疲労き裂進展試験についても筆者の経験をもとに実験方法や最近の研究動向について説明する。

（14:50-15:00 休憩）

● 15 時 00 分～16 時 00 分 [講演 2]

「強度、耐久性、信頼性、品質、コストに優れた接着接合のための設計法と作り込みの目標値」

原賀 康介 先生（原賀接着技術コンサルタント）

（講演概要）接着接合の強度、耐久性、信頼性、品質、コストは設計の良し悪しで決まると言っても過言ではない。ここでは、これらを満足させるために必要な、高品質接着の基本と目標値、接着の信頼性とばらつき、品質の関係、発生不良率とばらつきを目標値に入れるための CV 接着設計法、接着の欠点を解消するための複合接着接合法などについて述べる。

● 16 時 00 分～17 時 00 分 [講演 3]

「樹脂-金属異種材料界面特性評価方法と接合メカニズムの解析」

堀内 伸 先生（産業技術総合研究所 ナノ材料研究部門接着・界面現象研究ラボ）

（講演概要）近年、樹脂と金属を強力に接合する技術開発が活発に進められている。本講演では、樹脂-金属などの異種材料界面の構造観察や特性評価法の詳細について紹介し、高強度を発現するための接合メカニズムについて解説する。また、日本が主体となり接合特性評価方法の標準化を進めて発行された新規 ISO 規格についても紹介する。

問合せ先：松本 章一 大阪府立大学大学院工学研究科 物質・化学系専攻応用化学分野

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1、TEL/FAX 072-254-9292、e-mail matsumoto@chem.osakafu-u.ac.jp

申込み先：一般社団法人日本接着学会関西支部ホームページからお申し込みください。

<http://www.adhesion.or.jp/seminar/>（会員の方は、会員種別を「研究会会員」にしてご入力下さい。）

年会費に対する問合せ先：一般社団法人日本接着学会関西支部事務局 柴崎

TEL 06-6634-8866、FAX 06-6634-8867、e-mail info-kns@adhesion.or.jp